資料６

令和5年度　第１回 大牟田市地域公共交通活性化協議会

報告事項（３）路線バス及び新幹線の乗降調査について（経過報告）

<目次>

１．乗降調査概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
２．路線バスの乗降調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
３．新幹線の乗降調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
４．今後の検討方針（案）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

令和５年６月26日
大牟田市　国県道路・地域交通対策課

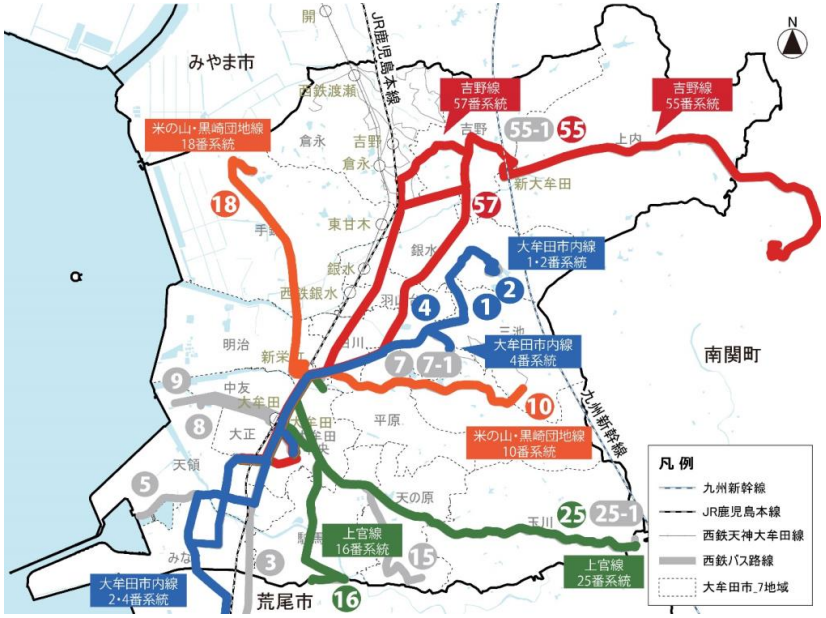
（1）路線バス及び新幹線の乗降調査概要

- 補助路線全便、及び新大牟田駅停車の全便を対象に実施した乗降調査の概要は以下の通り

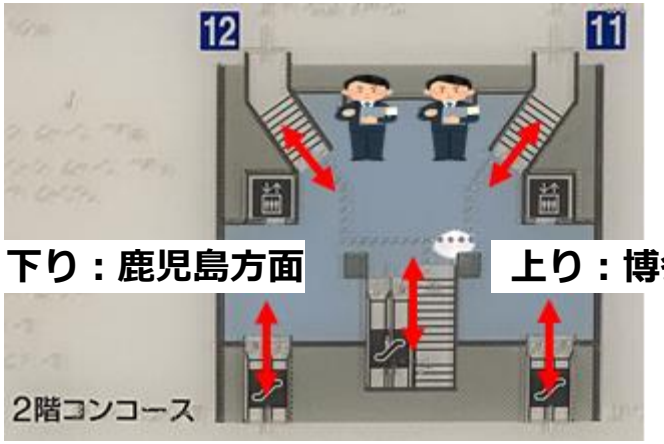
■調査概要

調査の種類	路線バスの乗降調査	新幹線の乗降調査
調査対象	補助路線の４路線９系統 平日：226便 土曜：206便	新大牟田駅停車の全便 平日：46本 休日：46本
調査方法	・調査員がバスに乗車し、目視でバス停毎に乗降者数及び乗車利用者の属性（※）を便別に記録 ※学生・一般・高齢者	・調査員が目視で、乗降者数を駅に到着する本数別に記録
調査時期	令和５年５月 平日：　９日（火）、 10日（水）、 11日（木） 土曜：13日（土）、 20日（土）	令和５年５月 平日：23日（火） 休日：21日（日）

■調査対象バス路線



■新大牟田駅内調査箇所



（出典：R5.5大牟田市調査データより作成）

（1）時間帯別・属性別の利用状況（乗車）

＜平日利用者＞

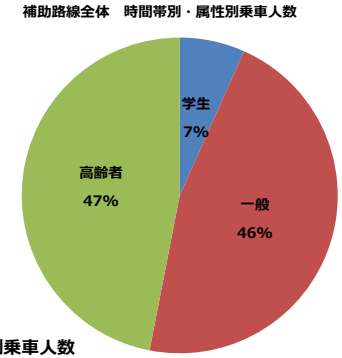
- 一般利用者と高齢者が概ね同程度の割合（約5割）を占める。
- 50人/日以上となる時間帯は、一般利用者が「7時台～18時台」、高齢者も概ね同様で「8時台～17時台」となる。
- 学生は「朝・夕」の通学・帰宅利用が主だった利用時間帯となる。

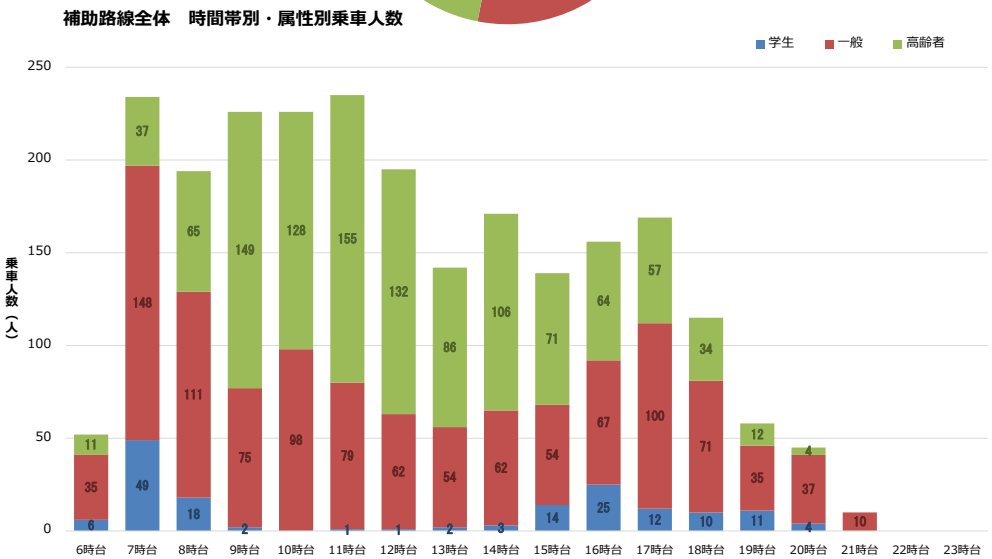
＜休日利用者＞

- 一般利用者が半数以上の割合（約5割）で、高齢者が約4割を占める。
- 平日同様に50人/日以上となる時間帯は、一般利用者が「7時台～18時台」と平日同様となるが、高齢者は「9時台～13時台」と午前から正午の時間帯で利用している状況となる。
- 学生は利用人数は少ないが一般利用者と同様に時間帯によらず利用している。

【平日】

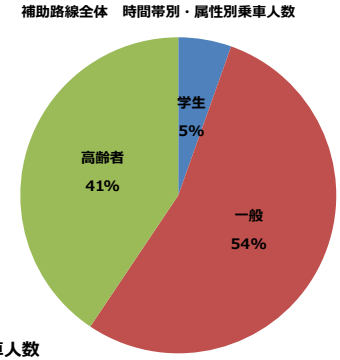
総乗車人数：2,367人/日

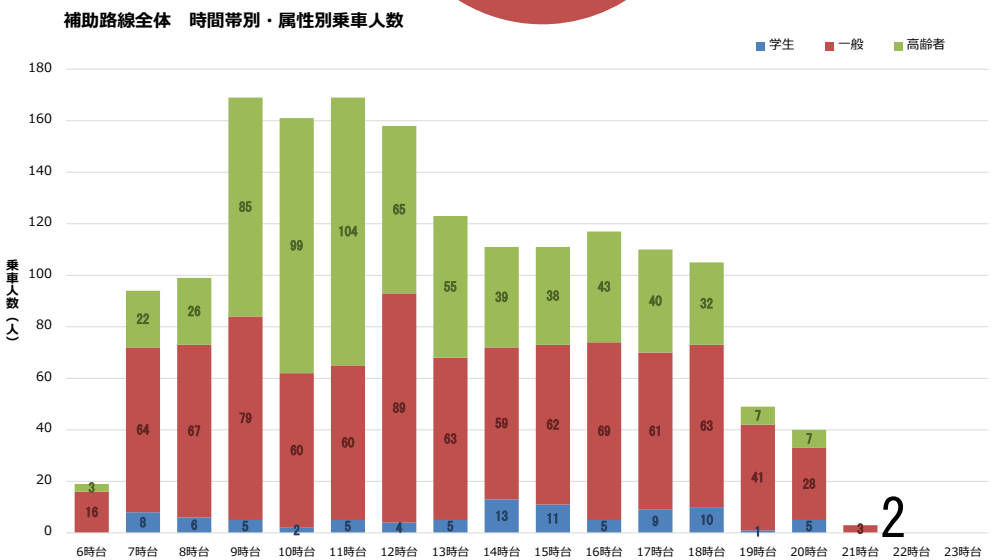




【土曜（休日）】

総乗車人数：1,638人/日



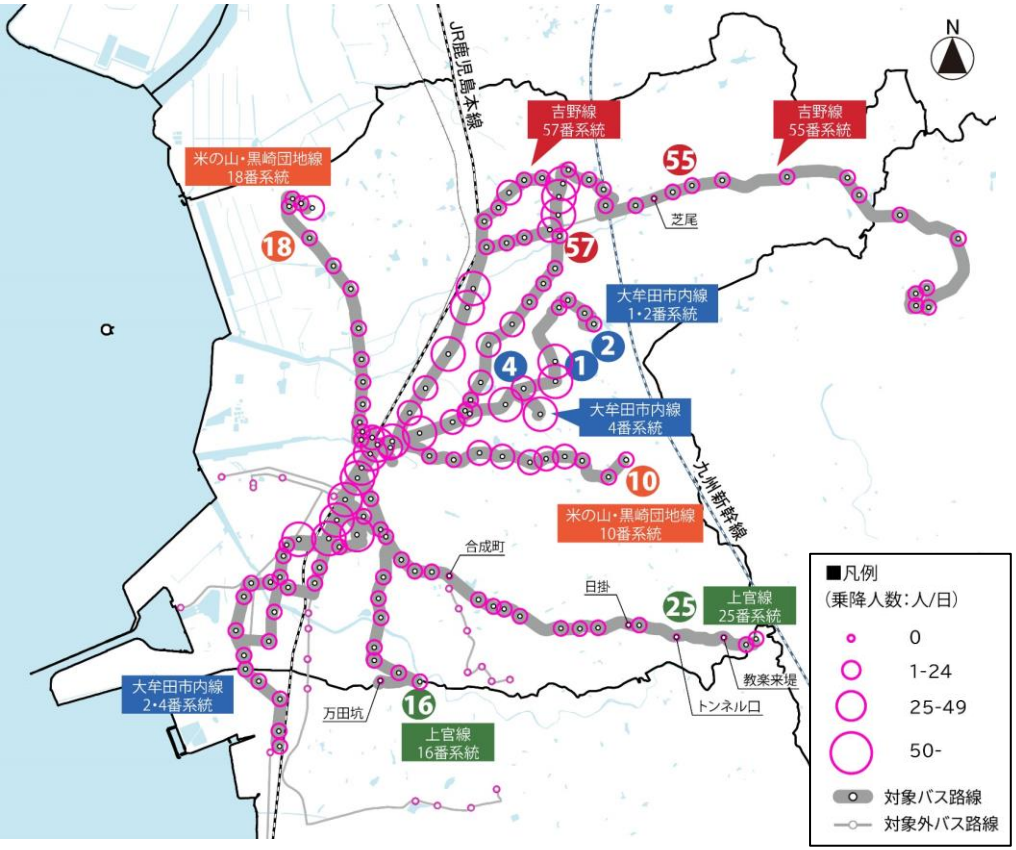


（出典：R5.5大牟田市調査データより作成）

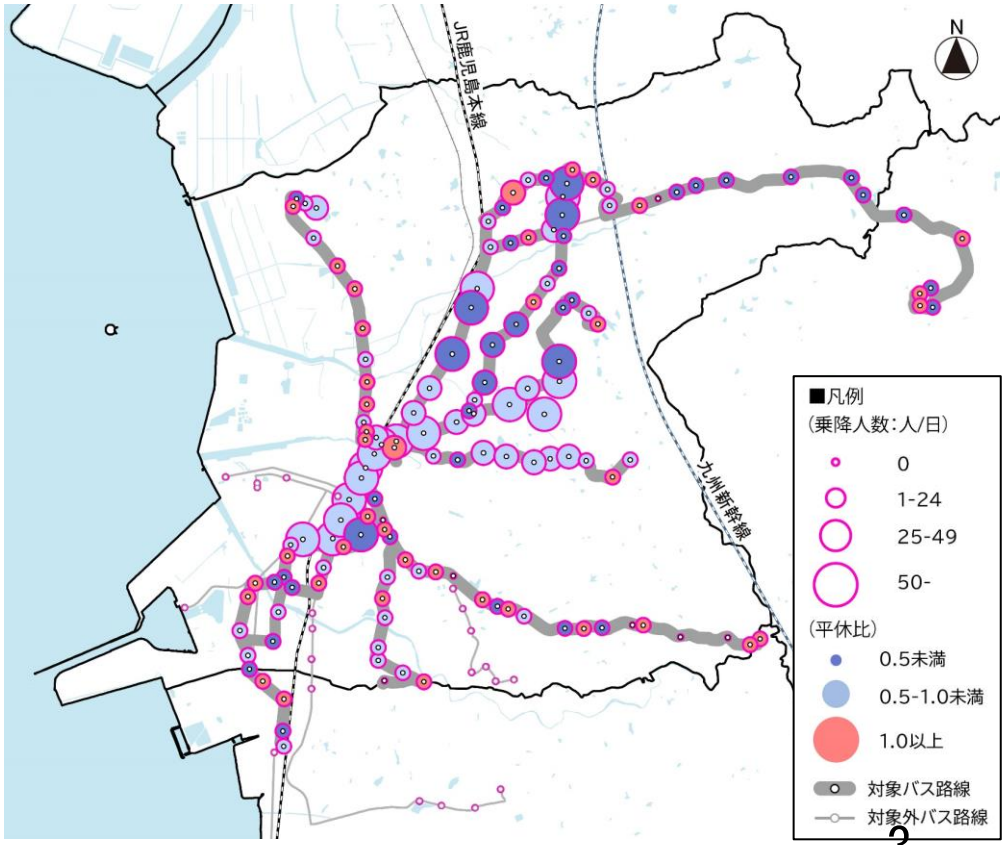
（2）バス停別での利用状況（全利用者：乗車＋降車）

- 補助路線の４路線９系統の１日の平均乗降人数は「31人/日・バス停」となる。
- 50人/日以上が乗降利用するバス停は対象141バス停のうち「21バス停（約15%）」となるが、利用されていないバス停（0人/日）が「6バス停（約4%）」存在する（※乗降利用なしのバス停：合成町、日掛、トンネル口、教楽来堤、芝尾、万田坑（土曜のみ））。
- 平日に対して休日の平均乗降人数が同じ又は多くなるバス停（平休比が1.0以上）は「39バス停（約28%）」となるが、その平均乗降人数は「9人/日・バス停」と10人未満となる。

【平均乗降人数（人/日）】



【平休比】

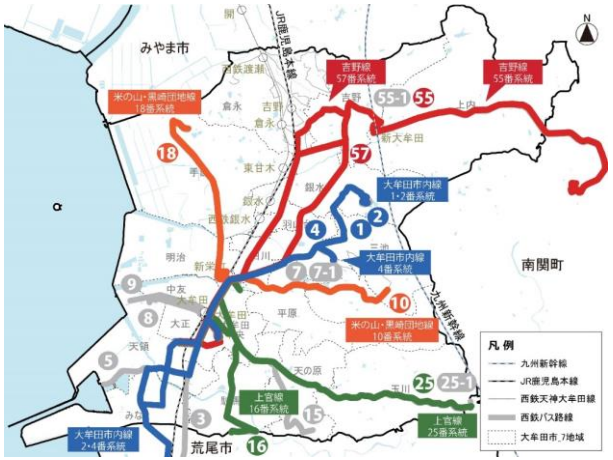


注：平均＝（平日×5日＋土曜×2日）／7日より換算

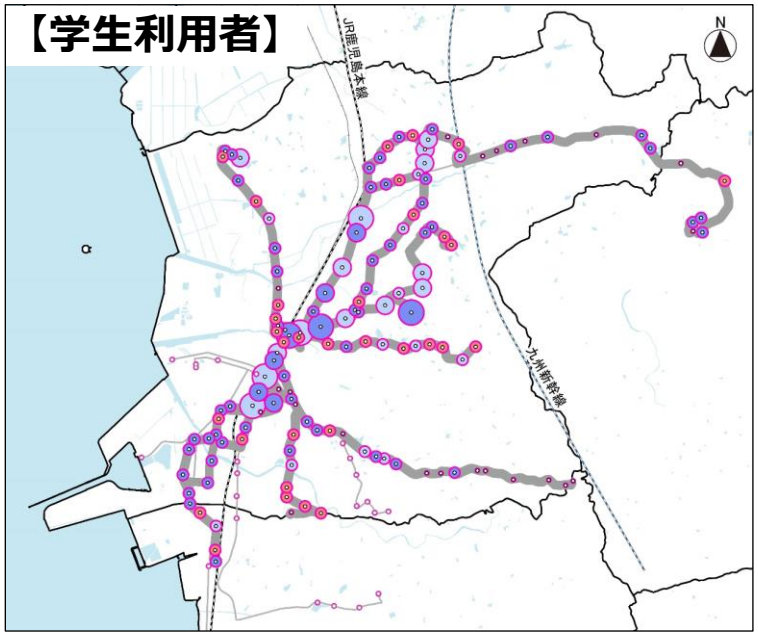
（出典：R5.5大牟田市調査データより作成）

（2）バス停別での 利用状況（属性別平休比：乗車）

- 利用者属性別での平休比をみると、一般利用者は、25人/日未満のバス停で平休比率が高まり、休日での利用も顕著な傾向がうかがえるが、学生・高齢者は休日利用が少ない傾向となる。

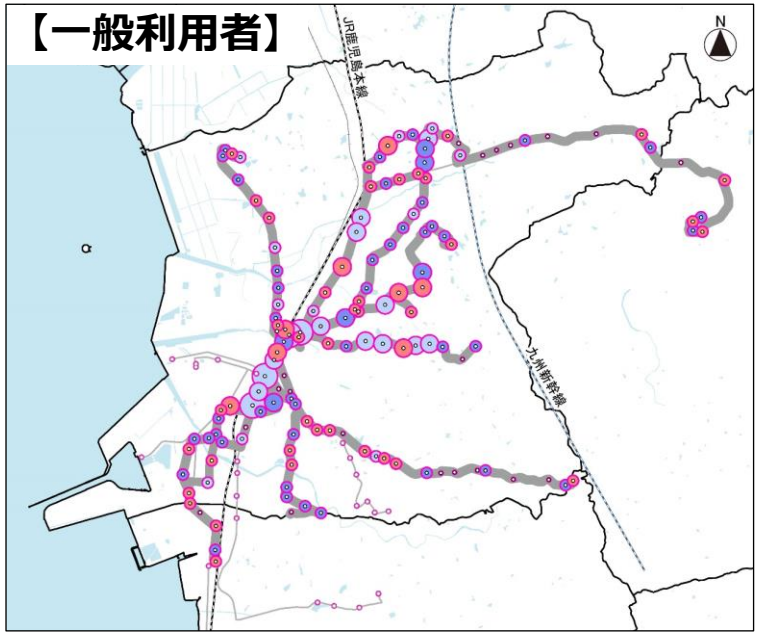


【学生利用者】

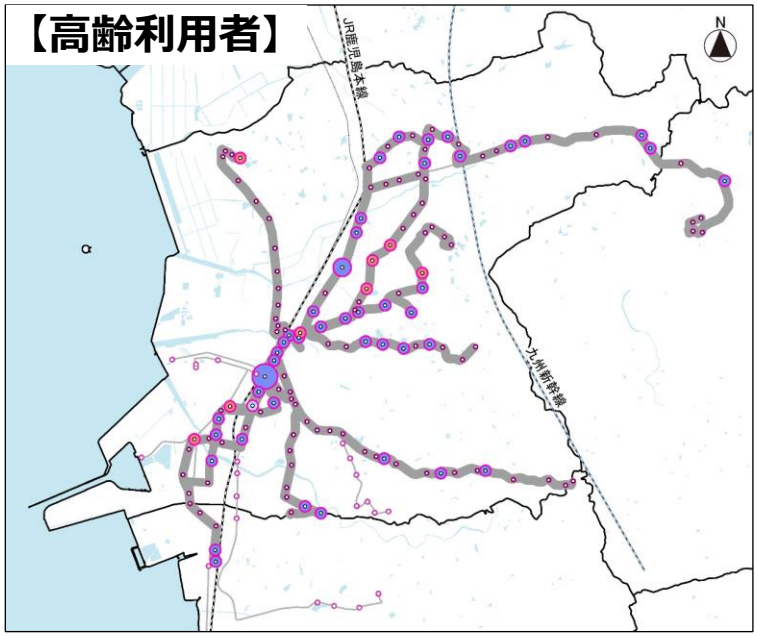


【平休比】

【一般利用者】



【高齢利用者】



■凡例
（乗車人数：人/日）
0
1-9
10-24
25-
（平休比）
0.5未満
0.5-1.0未満
1.0以上
対象バス路線
対象外バス路線

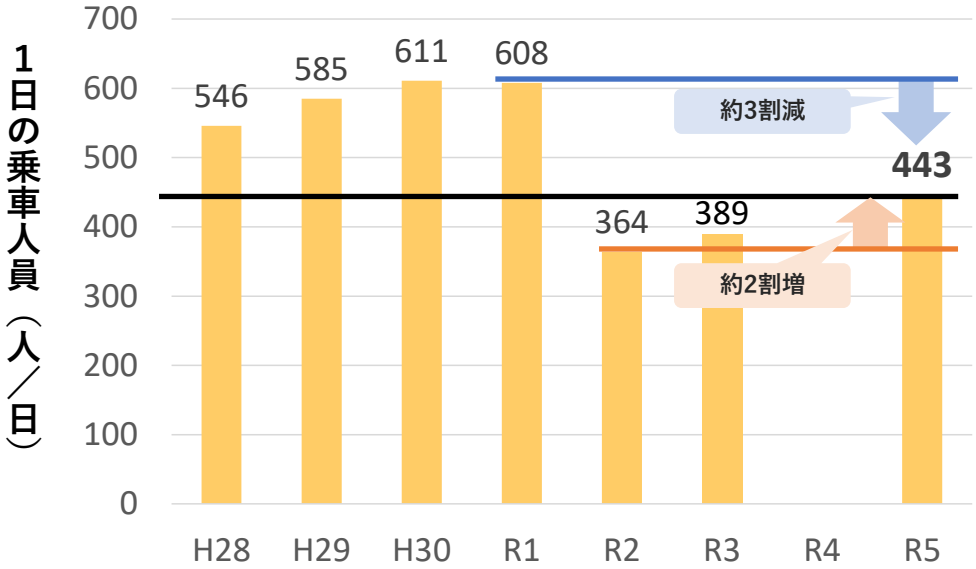
注：属性は乗車利用者を対象としているため、平日・土曜（休日）の乗車人数より整理

（出典：R5.5大牟田市調査データより作成）

（1）新幹線の年間利用者数の推移

- 新幹線（新大牟田駅）の今回調査結果（※年間拡大値）では、コロナ禍での減少から回復基調にあるものの、コロナ禍前よりも約3割少ない状況となる。

【利用者数の推移（1日利用者数：乗車）】

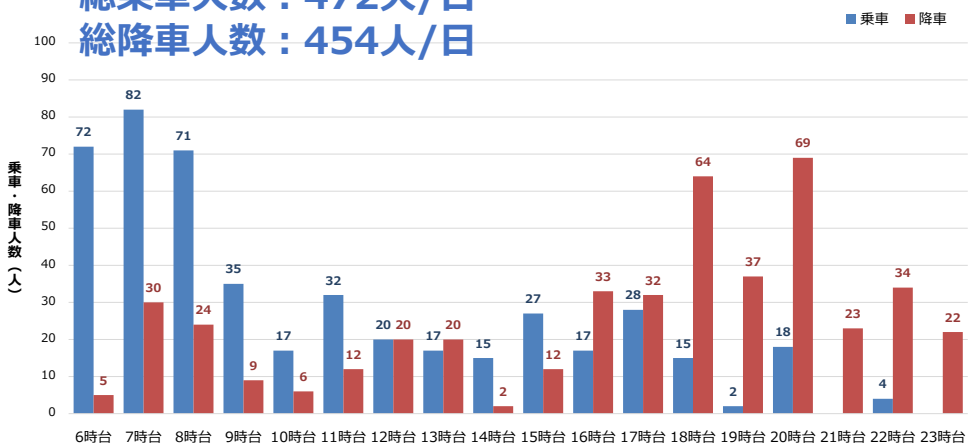


（2）新幹線の乗降調査結果（時間帯別の利用実態）

- 平日：乗車は「6～8時台」に集中、降車は「18～20時台」に集中 ⇒ 通勤・帰宅利用
- 休日：乗車は「9時台」に集中するが、その前後にも一定利用が存在、降車は「17～20時台」に集中 ⇒ 私用・帰宅利用

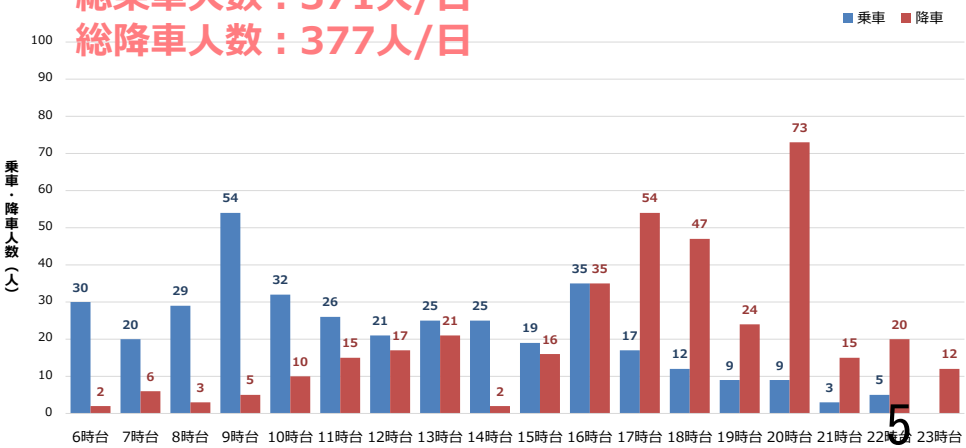
【平日・上り（博多方面）＋下り（鹿児島方面）】

総乗車人数：472人/日
総降車人数：454人/日



【休日・上り（博多方面）＋下り（鹿児島方面）】

総乗車人数：371人/日
総降車人数：377人/日



（出典：R5.5大牟田市調査データより作成）

【事業1】効率的な公的支援の実施・非効率部分の効果的な見直し検討

＜今後の検討方針（案）＞

- 区間別や時間帯別の運行便数、利用状況を踏まえ、運行区間や時間帯の効率化等の検討・実施

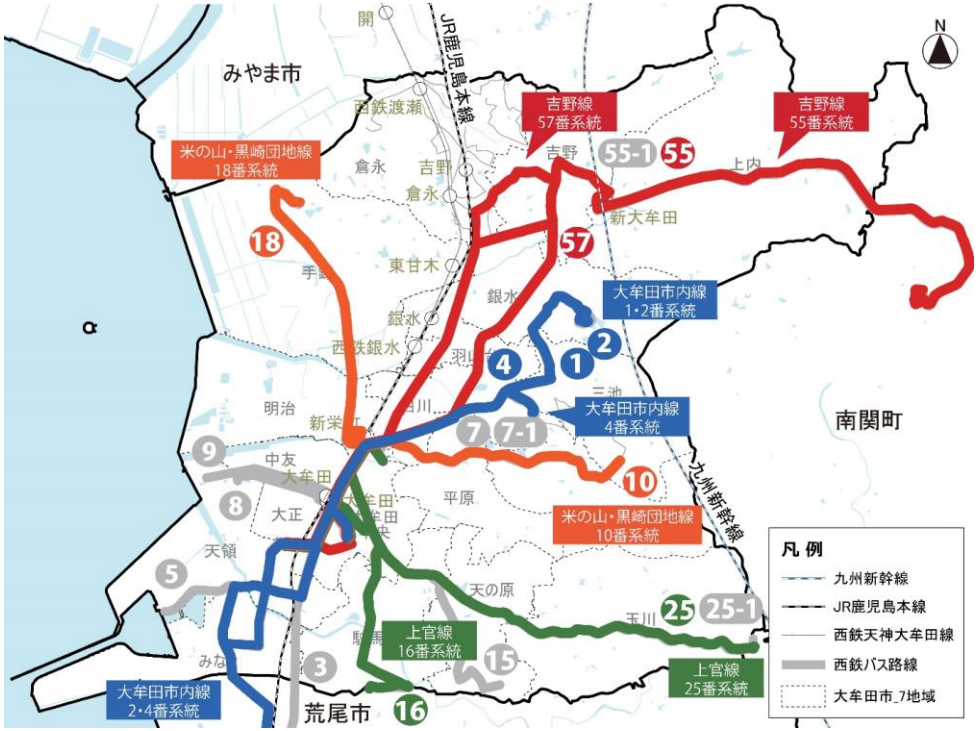
【事業7】新大牟田駅関連の乗継利便性の向上検討

＜今後の検討方針（案）＞

- 広域交流拠点に位置付けられる新大牟田駅エリアでの交流拠点化・交流促進に向けた取組みを支援するため、

ｉ)大牟田駅～新大牟田駅間における様々な利用手段の確保・提供
デマンド型（タクシー）・定時定路線型（小型バス）、パークアンドライド促進支援　等

■【事業1】R5年度・補助対象バス路線



■【事業7】R5年度・実証実験概要